

避難所のトイレ対策

1. 災害用トイレの調達

水、電気、道路の復旧状況に応じて、使用できる災害用トイレは異なる。
洋式・和式、段差の有無、汲取りの必要性などを考慮しながら選定する必要がある。
(災害用トイレの種類 別紙：<http://www.toilet.or.jp/dtinet/311/>)

* トイレ支援・調達の際に併せて検討する内容
オムツ(大人・子ども)、おしり拭き、生理用品、サニタリーボックス、手指消毒液、消臭剤、トイレットペーパー、使い捨て手袋、トイレ洗浄剤、清掃道具等

2. 避難所トイレの使用・管理の心得

排せつを我慢し、水分摂取を控えると脱水症状になり、体力低下などによりインフルエンザにも感染しやすくなる。一定の尿量を確保しないと、脱水、尿路感染症(膀胱炎等)、循環不全(肺塞栓等)の危険性がある。ストレスや窮屈な生活により血栓ができ、エコノミークラス症候群で死にいたるケースもある。

【ポイント】

- トイレを我慢しない
- 水分や食事をしっかりとる
- お年寄りに声をかけてトイレに付き添う
- 建物内のトイレは、高齢者、障がい者、女性、子どもを優先とする
- 人工肛門等の方々やオムツ交換スペースを確保する
- 便座が冷たい場合は、カバーをするなど工夫する
- 外国人にも配慮し、使用方法等を掲示する
- トイレ掃除を徹底し、清潔で安心できる明るいトイレ環境をつくる

1) 避難所の建物内のトイレの使い方

水が出るかどうかを確認する

(ロータンク方式の場合、初回のみ水が流れる場合がある)

A 水が出る場合：

- ・排水管からの漏水やマンホール等からのオーバーフローがないかどうかを注意しながら使用する

B 水が出ない、かつ、周囲に水がない場合：

- ・洋式便器にビニール袋を設置して、その中に新聞紙を敷いて排泄後、パッキングして保管する(臭気対策が必要)
- ・携帯トイレや簡易トイレの調達を検討する
- ・和式トイレに設置する洋式便座等の調達を検討する

C 水が出ない場合(ただし、プール等の水がある場合)：

- ・排せつ後、バケツ等で流す。排水管が詰まりやすいので、使用済みトイレットペーパーは、ビニール袋や段ボール箱等に分別して保管する

トイレ使用後の手洗いを徹底し、水がない場合は手指消毒液等を配備する

トイレ内外で使用する履き物を分ける

トイレ清掃、汚れ防止、消毒を徹底する

トイレの寒さ対策を工夫する

2) 避難所の屋外の仮設トイレの使い方

トイレを調達する場合は、汲み取りも同時に検討する

トイレは、汲み取りしやすく、人目に付きやすい場所に設置する

照明、トイレットペーパー、消臭剤、フック、清掃道具、サニタリーボックス等を設置する(フックは、点滴掛け等にも役立つ)

使用済みトイレットペーパーを便槽に入れずに、ビニール袋等に分別することで、便槽が一杯になるまでの期間を延ばすことができる

大便が便槽の中でピラミッド状に積みあがった場合、棒などで便を崩すことで、さらに使うことが出来る

手指消毒液、手洗い水を設置する(手洗い水を設置する場合は、使用後の水をバケツで受け、トイレ掃除に使用できるようにする)

トイレ清掃、汚れ防止、消毒を徹底する